

分野	教育	施策	文化・スポーツ			
分野計画名称	文化振興計画				行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	3 文化・スポーツの振興を支える人づくり					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	27.5%	38.6%	32.3%	25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	19,081人	13,052人	16,958人	17,860人	22,000人
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	92.9%	92.5%	94.74%	90.0%
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	39.8%(令和2年度)	30.9%	41.0%	42.1%	50.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	72,300人	56,147人	79,783人	人	78,000人
KPI (指標)	文化スポーツ課所管団体の活動において、直近1年間で研修会等を実施した回数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)

	増加	20回	22回	29回	21回	25回
--	----	-----	-----	-----	-----	-----

中項目	1 次世代アーティスト・アスリートを育む文化・スポーツ環境の更なる拡充	分野計画参照ページ	P20
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
① 美術活動推進事業 文化スポーツ課	・ 10月10日～13日の間に、コミュニティプラザで、市内大学の保育学科の学生と共同でこども展覧会を開催し、1,144点（前年度比+17点）の展覧があり、1,391人（前年度比-295人）が来場した。	・ 前年度に引き続き個人の展覧においてLoGoフォームからの申し込みを可能としたこと、QRコードを活用した案内文書の送付と電話による案内も実施したことで、出展数の増加につながった。 ・ 来場者減少の要因は、イベントの初日が小学校の運動会と日程がぶったことによるものである。	
② 音楽活動推進事業 文化スポーツ課	・ 文化ホールで摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）を開催（予選を9月に本選を12月）し、予選に参加した36組（前年度比-16組）のうち、18組（前年度比±0組）が本選に参加した。来場者は延べ271人（前年度比-94人）であった。また、本選の審査待ち時間にチャレンジコンサートを実施し、7人（前年度比±0人）が参加した。 ・ 12～2月にリトルカメラリアミニコンサートを小学校9校（前年度比+3校）で実施し、延べ22人（前年度比+11人）が出演した。鑑賞者数は延べ1,310人（前年度比+264人）であった。 ・ 12月に文化ホールでフレッシュコンサートを開催し、5人（前年度比±0人）が出演した。来場者数は約220人（前年度比+20人）であった。	・ 摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）に出場や受賞した音楽家や、市内及び近隣市で活動する音楽家の発表の場として、現在ミニコンサートを実施しているが、実施した学校からは、子どもたちが生の音楽や楽器に触れる機会として好評であり、引続き実施していく。	
③ 演劇・芸能文化活動推進事業 文化スポーツ課	・ ちびっこ劇団「ひなどり」の加入者数は新1年生2人（前々年度比-6人）となった。 ・ 9月15日に文化ホールにてちびっこ劇団「ひなどり」の演劇発表会を行い、311人（前年度比+18人）が来場した。 ・ 3月23日に文化ホールにて行われた摂津市民演劇祭にちびっこ劇団「ひなどり」が参加し、330人（前年度比+10人）を動員した。	・ 令和5年度は新1年生と新2年生を対象に加入案内を行っていたが、令和6年度は新1年生のみを対象に行ったことで、加入者数が大幅に減少した。 ・ 本事業が令和6年度を以って終了するにあたり、チラシなどで最後の上演となることを契機として観劇を呼びかけたことから、摂津市民演劇祭の動員数が増加した。	
④ スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・ 3月8日に第一生命グループ女子陸上競技部0Gによる走り方教室を実施し、小学生50人（前年度比-5人）の参加があった。 ・ 3月15日に安田理大さんによるサッカー教室を実施し、小学生110人の参加があった。	・ 走り方教室、サッカー教室共に募集定員があったが、応募者多数で抽選となるほど人気であった。また、こどもたちは、アスリートから走り方やサッカーの技術だけでなく、考え方も教わることでできたことが良かった点である。	
⑤ 正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	・ 「ハッピーヨーガ教室」等、10講座（前年度比+3講座）を開催し、延べ1,510人（前年度比+52人）が参加した。 ・ 英語教室やフラワーアレンジメント等、自主事業として文化に関連する講座を開催した。	・ 講座参加者の増加の要因は、イベント等が地域に定着してきたためと考える。	
⑥ 公民館講座開催事業 生涯学習課	・ 市立公民館で活動する子どもたちが日頃の活動の成果を展示・発表する「キッズなかよし発表会」を摂津市民文化ホールで実施し、展示6団体（前年度比±0団体）、発表7団体（前年度比±0団体）が参加した。	・ 発表団体7団体のうち、ダンス演技は5団体、バレエ演技は2団体であり、ダンスを日頃活動する団体が多い傾向にある。 ・ 子どもたちが日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである「キッズなかよし発表会」を引き続き実施する。	

⑦ 文化ホール管理事業 文化スポーツ課	・文化ホールで小学生を対象に、「親子で夢中になる理科実験～ワクワクドキドキを体験しよう！！～」を開催し、97人（前年度比+37人）が参加した。	・令和5年度に1回目をいきいきプラザで実施したが、令和6年度は文化ホールで実施しスケールアップしたことで、参加者数の増加に繋がった。 ・引続き興味を引く内容を検討し、子どもや若い世代に足を運んでもらえるよう工夫する必要がある。
⑧ 文化財保護事業 生涯学習課	・摂津市の歴史を後世に伝えるため、コミュニティプラザで「ふるさと摂津講座」を開催し、75人（前年度比+44人）が参加した。	・ふるさと摂津講座は、講座以外に歴史に関するフィールドワークを取り入れたことにより、受講者が増加しているため、今後も継続して実施する。
⑨ コミュニティセンター管理事業 自治振興課	・「運動×防災教室」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計25回（前年度比-18回）開催し、計6,264人（前年度比+1,431人）が参加した。	・講座参加者の増加の要因は、別府地域の団体と協力する等、イベントが地域に定着してきたためと考える。

中項目	2 文化・スポーツを支える人材の育成と団体支援・ノウハウ継承	分野計画参照ページ	P22
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
① 文化振興事業 文化スポーツ課	・団体主催や市との共催イベントを開催し、参加者数や来場者数等は以下のとおりであった。 ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、50人（前年度比-11人）が出展した。来場者数は240人であった（前年度比-30人 天候不良などによる）。 ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、18組（前年度比+5組）が出演した。来場者数は約300人（前年度比±0人）であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、242人（前年度比+10人）が出場・出展した。来場者数は約800人（前年度比±0人）であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、7組が出演した。来場者数は約100人であった。（前年度比-100人） ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、14組（前年度比-2組）が出演した。来場者数は約170人（前年度比-10人）であった。 ・少林寺拳法、空手、レスリング、テニス、グラウンド・ゴルフ、キンボール、チアリーディング、アルティメット、柔道、ゴルフ、ホッケー、野球、スケートボードの大会において、激励金を38件（前年度比+6件）交付した。	・前年の来場者数を下回るイベントが多かった。特にわがままコンサートについては、雨の影響で観客数は伸びなかった。来場者用の駐車場がなく、自転車・徒歩の方が多いため雨の影響が特に大きかったと考える。引き続き、イベントナビや市のラインなどのツールも活用し開催周知の促進に努める。 ・天候やイベントの重複等様々な要因が集客に影響し、そのことが団体活動のモチベーションにもつながることから、公共施設の改善など利用しやすい施設を目指し、市として可能な部分のバックアップをして行く必要がある。 ・今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引続き支援していくことが重要である。 ・コロナ禍で中止となっていた大会等が再開されたこともあり、申請実績は伸長している。 ・本事業の認知度も高まっており、ホームページや市立の文化・スポーツ施設での掲載効果もあると推測する。	
② スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	・スポーツ推進委員の1名が初級パラスポーツ指導員の資格を更新した。 ・市のスポーツ推進委員協議会内において、指導員が継続して在籍しており、スポーツ推進委員の主管事業において、障害をお持ちの方が参加された際の対応もスムーズに行うことができた。	・令和6年度に開催されたパリパラリンピックにより、市民にもパラスポーツに対する意識や注目が集まっていることが想定される。競技者の増加・育成に加え、指導員や審判員の増加を目指して取り組みを継続していく。	
③ スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・スポーツ少年団指導者講習の一環として、普通救命講習会を実施し、13人（前年度比+1人）が参加した。 ・スポーツ少年団へ大会参加の補助金を通じて、活動を支援した。	・引き続き、指導者講習や補助金交付等により、各スポーツ団体の活動を支援していく。	

④ 市民活動支援事業 自治振興課	・市民活動支援講座として、「インスタグラム講座応用編」を開催し、6人が受講した。また、「インボイス制度セミナー」を開催し、10人が受講した。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載するとともに、各施設で市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。	・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・市民公益活動補助金について、審査委員から物価高騰の影響によって金額の合理性を再検討すべきではないかと意見が付されていることから、近隣他市の状況等の調査を行う。 ・今後の市民公益活動の支援として、本市にふさわしい中間支援の在り方を検討する必要がある。
⑤ こども会育成事業 生涯学習課	・摂津市こども会親善スポーツ大会を開催し、ソフトボールの部6チーム（前年度比±0）、キックベースボールの部2チーム（前年度比±0）が参加し、各部の優勝・準優勝チーム計4チームが三島ブロックこども会親善スポーツ大会に出場した。また、市のスポーツ大会時に、キックベースボール体験会を併せて実施した。 ・地域やこども会などで活動するリーダーを養成する「冒険プログラム」として野外炊飯体験やスノーシューハイキング体験を実施した。	・摂津市こども会親善スポーツ大会の参加者増加に向け、摂津市こども会育成連絡協議会と連携し、体験会の実施回数を増やしていく必要がある。 ・こども会会員の体験学習の場である「冒険プログラム」を、こども会に所属していない「こどもたち」も対象としたことで、こども会活動を知ってもらう機会を設けることができた。
⑥ 生涯学習フェスティバル開催事業 生涯学習課	・「話そう摂津のこと」をテーマに「生涯学習フェスティバル市民のつどい」を開催し、60人（前年度比+3人）が参加した。 ・大正川河川敷公園を会場に「摂津市生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」を開催し、約800人（前年度比+300人）が来場した。	・摂津市生涯学習フェスティバルろうそくファンタジーについては、実施内容と本来の目的に乖離が生じてきていることから、あり方を見直す必要がある。 ・運営団体の自主的な活動を推進するため、「摂津市生涯学習フェスティバル実行委員会」の自立に向けた協議を行っていく必要がある。
⑦ せつつ生涯学習大学事業 生涯学習課	・せつつ生涯学習大学を全12回開催し、19人（前年度比±0人）が受講した。また、単発受講で計57人（前年度比+8人）が受講した。 ・せつつ生涯学習大学院を全3回開催し、3人（前年度比-1人）が受講した。	・引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供のため、せつつ生涯学習大学を開催する。 ・高齢の受講者が多いため、近隣の大学等と協議し、若者を対象した講座の開設について検討していく必要がある。

中項目	3 企業連携、大学連携による文化スポーツ振興に関する環境整備・人材育成	分野計画参照ページ	P24
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
① 文化振興事業 文化スポーツ課	・7月に音楽連盟とルッツ南摂津からなる実行委員会により、ルッツ南摂津（ショッピングモール）でフロアコンサートを開催し、10団体（前年度比±0団体）が出演、チラシを見て集まって来た方や買い物客が鑑賞した。		

	・演劇協会が主催する市民演劇祭の司会者として、大阪人間科学大学の学生を紹介してもらい事業への協力を得た。 ・摂津市文化連盟及び摂津市音楽連盟の会員に対し、大阪人間科学大学大学祭のホールでの発表に関する出演者や、教室での展示等の出展者について、募集の案内文書を約80通送付した。 ・団体主催や市との共催イベントを開催し、参加者数や来場者数等は以下のとおりであった。 ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、50人（前年度比-11人）が出展した。来場者数は240人であった（前年度比-30人 天候不良などによる）。 ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、18組（前年度比+5組）が出演した。来場者数は約300人（前年度比±0人）であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、242人（前年度比+10人）が出場・出展した。来場者数は約800人（前年度比±0人）であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、7組が出演した。来場者数は約100人であった。（前年度比-100人） ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、14組（前年度比-2組）が出演した。来場者数は約170人（前年度比-10人）であった。	・音楽連盟が主体となり、民間施設を利用した発表会を実施できた。 ・大学祭で大学と地域の文化団体とを繋ぎ、地域・学校ぐるみでの摂津市の文化振興を図ることができた。 ・今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引続き支援していくことが重要である。 ・前年の来場者数を下回るイベントが多かった。特にわがままコンサートについては、雨の影響で観客数は伸びなかった。来場者用の駐車場がなく、自転車・徒歩の方が多いため雨の影響が特に大きかったと考える。引き続き、イベントナビや市のラインなどのツールも活用し開催周知の促進に努める。 ・天候やイベントの重複等様々な要因が集客に影響し、そのことが団体活動のモチベーションにもつながることから、公共施設の改善など利用しやすい施設を目指し、市として可能な部分のバックアップをして行く必要がある。 ・今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引続き支援していくことが重要である。
② スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・7月20日に株式会社ガンバ主催による摂津市民応援デーが開催され、摂津市民1,474人が招待された。	・今後も企業等と連携していくことで、スポーツ振興を広げていくことが必要である。